

きょうたんて vol.130



主な内容

特集  新春企画

つるの恵み 2015

市政トピックス

市内各地で花いっぱい運動広がる ほか

2015 平成27年 1月号

1月9日発行

写真：府立峰山高等学校弥栄分校農園芸科2年の皆さん

ささえあい、たすけあい、あたえあい 笑顔と喜びが広がり続ける 和のちから 輝くまちへ

京丹後市長 中山 泰



あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、平成27年の新春を健やかにお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、京丹後市市制施行10周年の節目を迎え、市全域フイールドミュージアム、大相撲京丹後場所、京丹後花月などの記念事業の実施のほか、「京丹後地域活性化」地方創生プロジェクトが国により採択され、先端的大学と連携した新たな絹・シルク産業の創造、若者が集う新しい

「京丹後市夢まち創り大学」の創設など、本市の将来の本格的・構造的な発展への核となる諸事業が着手された年でありました。このほか例をあげれば、各種の新経済戦略プロジェクト推進、「海の京都」事業の全国的観光圏構想としての認定・事業の促進、KTR再生への運営会社の決定と改革、グリーン経済のための木材チップ工場や市民太陽光発電所の創設、コミュニティビジネス条例の制定・事業開始、名古屋圏との交流関連事業、また、米軍経ヶ岬通信所の設立および米軍関係者も一緒にあって「日本一の安全・安心まちづくり」運動の開始、教育・社会の面でも小中一貫教育の本格開始・各町「こども園」の建設、先駆的な寄り添い支援・生活困窮対策など、全てを掲げることはできません

んが、まちづくりの多くの分野で、これからの時代をリードするにふさわしい発展・繁栄のための基礎となる諸取り組みを、国、府、本市内外の関係機関、職員、何より市民の皆さんとともに全力で推進してきました。全ての皆さんに心から感謝を申し上げます。
いよいよ本年春には、京都縦貫自動車道が全線開通し、丹後と京都、名阪神を結ぶ交通アクセスが飛躍的に向上する「北近畿新時代」が到来します。この「天の時」を正確にとらえ、大都市圏など域外の住民や企業・関係機関との大交流を末永く築いていくため、これまでから、まちづくりの各分野における制度的・社会的な宝となる魅力づくりに万般に取り組み、京丹後の「地の利」を本市をあげて築き続け、今後ともこのこ

とが大事なことはいうまでもありません。
そして、とりわけ大切なことは「人の和」です。本市は、人間皇后に尊いご縁をいただくまち。人間皇后を生母とされる聖徳太子は、有名な17条の憲法の最初に「和」の貴さについて謳われています。
京丹後が真に豊かな発展と繁栄に向かっていくうえで、社会の基礎として大切に思うのは、「誰一人おきざりにされないまちづくり」、「ささえあい、たすけあい、あたえあい、利他や慈愛の心も広がる、市民全員みなきょうだいのまちづくり」へと着実に歩みを進めていくこと。市民全員みな一人ひとりの人の「和」が大きくつながることで、「和」を結う縦横無尽の人の絆の温かさや強靱さにより、課題があってもあきらめない、真の



活気に貫かれ、粘り強く持続的な活力を静かに力強く育んでいくのだと確信します。
誰もが幸福をますます実感できる市民総幸福のまち。市民お一人一人の想いと力を合わせ、市民総参加で「和のちから」がますます輝く、喜びと笑顔が広がり続けるまちへ、市民の皆さんとともに大切に育んでいきたいと思っています。
本年が市民の皆さんにとつてますます喜びの多い豊かな年でありますよう心からお祈り申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

京都から真の地方創生の実現を

京都府知事 山田 啓二



府民の皆さま、あけましておめでとうございます。
昨年の春、多くの皆さまからご信託を賜り、府政のかじ取りを引き続き担わせていただくことになりました。皆さまからいただいた期待を胸に、全力を尽くして京都府政を推進してまいりますので、府政に対するお力添えをよろしくお願い申し上げます。

昨年は、未来に向かっての課題が明確になった年でした。「平成26年8月豪雨」をはじめ、気候変動の影響により京都は3年連続の甚大な災害に見舞われました。改めて

被害を受けられた皆さまにお見舞いを申し上げます。府は、一日も早い復旧と将来にわたっての安全確保対策に、国・市町村と連携し全力を挙げて取り組んでいるところでありますが、「経験したことの無い」や「史上最大」という表現が毎回のようになり返される現状を見ると、もう一段階上の根本的な防災対策が大きな課題になっていると思います。
また昨年、私が会長を務める全国知事会で「少子化非常事態宣言」の決議を行いました。地方消滅とまで言われる少子化の問題も高齢化の進展と併せて一刻の猶予もならない状況にあり、婚活から出産、子育て、雇用問題まで、幅広い分野で抜本的な対策を講じなければなりません。
さらに、東京一極集中の是正や中小企業・農林水産業の振興、環境・エネルギー問題

など、今、日本社会は大きな転換期に来ており、これまでの対応では解決できない課題を多く抱えています。従来の制度や政策を大きく超えた発想やスピード感をもった新たな施策により「新しい安心」を創出していかなければなりません。
ただ、一方で京都の観光客数は大幅な回復を見せ、植物園は近年最高の入園者数を記録し、「海の京都」観光圏に認定された府北部5市2町で開催された「海フェスタ京都」では140万人を超える方々にご来場いただきました。
京都府立医科大学、京都府立大学および京都工芸繊維大学の3大学による全国初の教養教育共同化施設が完成し、豊かな人材育成・交流拠点として活動を始め、学研地域にも企業の立地が相次ぎ、「けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）」

（旧「私のしごと館」）も動き始めました。
さらに今年は、悲願であった京都縦貫自動車道が全線開通し、高速道路の整備が大きな節目を迎えます。また、京都舞鶴港の整備やJR奈良線の複線化事業など、京都がこれまで取り組んできた基盤整備が大きな成果を上げつつあります。これらの整備された交流基盤の上に、「海の京都」、「森の京都」、「お茶の京都」や15の「みやこ構想」の花を咲かせ、文化スポーツ、学術・研究、産業などあらゆる分野で「新たな交流」を進める「世界の交流首都・京都」が姿を現しつつあります。
とりわけ今年は、本阿弥光悦が鷹峯の地で光悦村を開いてから400年の節目の年。オール京都の力を結集した「琳派400年記念祭」で、着物や工芸品など伝統産業の復権を目指すとともに、

「PARASOPHIA」京都国際現代芸術祭2015」と併せて京都の文化新時代を築き上げていきます。

これまでの安心を超える「新たな安心」の創出、北から南まで京都の資源と魅力を生かした「新たな交流」により、府民の皆さまと力を合わせて京都の未来を切り開いていきたいと思います。「少子化対策」、「東京一極集中の是正」、「地域活性化」という地方創生を進めるためにも、京都から安心と交流をつくり出し、お互いが支え合う地域社会を築いていく。京都には、それを可能にする力があります。今こそ、私たちの持つ「京都力」を集結し、真の「地方創生」をつくり上げていきましょう。

この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

新年あけまして おめでとうございます。

新年号では、本年の干支である「未」の文字に焦点を当て、市民の皆さんに“いまだ達成していない”ことを目標や抱負として伺いました。題して「つの思い 2015」。それぞれの今年こそ！の決意を笑顔とともに紹介します。



辻田 陵真・彩加夫妻
千那ちゃん
雨にも負けず、雪にも負けず、
仕事・子育て・遊びに
全力投球!!



丹の会
習字から
書の道へ



プティエトワール
一人一人のレベルアップをすることで、
よりみんなで踊る作品の
完成度を高める!!

相手に伝わるような表現力を身に付けて
輝ける一年にしたい!

FM たんご
丹後の情報を
世界へ発信!!

2月からサイマル放送※が
始まります♪

※インターネットラジオのこと



関 希望さん (網野町)



堀江 達哉さん (弥栄町)



松本 鐘三郎さん (峰山町)



安部 遥さん (久美浜町)



佐藤 沙矢香さん (峰山町)



奥田 哲也さん (丹後町)



吉岡 楓ちゃん (網野町)



松本 五月さん (大宮町)



田中 歩夢くん (大宮町)



西村 修一くん (弥栄町)



山副 崇さん (弥栄町)



小國 由佳さん (久美浜町)



久美浜中学校バレー部

全員バレーで
近畿大会出場を
目指します!!

浦嶋太鼓保存会

みんなで楽しく!!
打ち手も楽しく、観ている方も
楽しくなれるような
太鼓を目指す!!

新年あけましておめでとうございます。
浦嶋太鼓保存会は、網野町浅茂川の和太鼓チームです。
最近では、子どものメンバーも増えて一緒に頑張っています。今年もよろしくお願いします。



シアター「かたつむり」

郷土の偉人“松本重太郎”の
生涯を多くの方に知ってもら
いたい!!

松本重太郎いつ、どこで、何を?

私たちは、この地に伝わる伝説を地域の人たちや子どもたち、後世に伝えていくことを目的に、大型紙芝居を手作りし、学校や福祉施設、地域行事などで上演しています。今回は、間人出身の大実業家“松本重太郎”の生涯を題材にした光る大型紙芝居を制作しました。さまざまな場所で上演して、郷土の偉人の生涯をより多くの方に知っていただきたいと思っています。



網野高校体操部

全国

～夢を目標に、目標を現実～



池部 隆明さん（網野町）

今年も明るく、楽しく、元
気よく、オシャレな着物を
伝えていきます。
最高の1年にします!!



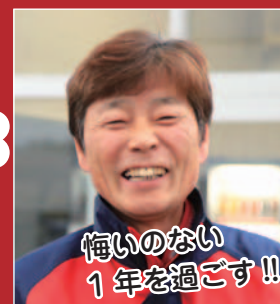
末次 英美さん（丹後町） 宇野 亜津子さん（弥栄町）

仲良く楽しく笑顔で接客します!!
道の駅でんきてんき丹後でお待ちしています!!



小塚 美弥さん（網野町）

全日本マスターズ
陸上で優勝!!



金保 啓一さん（弥栄町）

悔いのない
1年を過ごす!!



土居 年幸さん（丹後町）

アンチエイジングを
目指します!!



金久 千夏さん（弥栄町）

家庭と仕事を
両立する!!



大澤 真由さん（丹後町）

バレーで府下大会を
目指します!!



コッペちゃん

海の京都!!京丹後のビー
チを満喫したい☆



玉野 亜里人さん（久美浜町）

30%超えの農地で
バリバリ作ります!!



安田 幸夫さん（大宮町）

ツーリング仲間ともう一度、絶景の角島へ!!



黒田 麗子さん（峰山町）

今年も健康で
明るく頑張ります!!



ケイト・ガーネットさん（丹後町）

今年も引き続き、
日本語を勉強したいです。
また、大学の卒業論文を
仕上げたいです。

一般会計補正予算(第6号)
▼6億2393万円
《海の京都を積極推進》
日本一の砂浜海岸づくりに向
けた遊歩道の整備



遊歩道の整備を予定する砂浜海岸

新弥栄庁舎の整備
1億930万円
弥栄病院改築に伴い現在の
弥栄庁舎は取り壊されるた
め、新たに弥栄保健福祉セン
ターを改修し、庁舎として整

一般会計補正予算(第7号)
▼2000万円
犯罪のないまちづくりに向
けた犯罪抑止などを図るた
め、国の再編交付金を活用し
、市内6カ所(各町域1カ所)
に防犯カメラを設置します。



新シルク研究開発・利用促進施設として活用予
定の旧溝谷小学校

一般会計補正予算(第5号)
▼9566万円
衆議院議員選挙経費
3399万円
衆議院解散に伴い12月14
日実施の選挙経費で、全額、
国からのお金で賄われます。
職員等の給与と改定経費

1億6000万円
海の京都を積極的に推進す
るため、久美浜町の小天橋か
ら箱石までの砂浜海岸2・76
キロに京都府産の木材を活用
した遊歩道を整備します。平
成27年4月下旬の完成を目指
します。

《クリーンエネルギーの活用
推進》
充電ステーションの整備
5400万円
再生可能エネルギー電気の
地域利活用、クリーンエネル
ギーを動力源とする電気自動
車等の普及推進を図るため、
網野駅、道の駅「てんきてん
き丹後」、宇川温泉よし野の
里など市内7カ所に充電ス
テーションを整備します。

4783万円
平成27年3月で閉校となる
橘中学校施設を橘小学校施設
とするための改修工事を実
施します。平成27年度の2学
期からの使用開始を目指しま
す。

防犯カメラの設置
459万円
犯罪のないまちづくりに向
けた犯罪抑止などを図るた
め、国の再編交付金を活用し
、市内6カ所(各町域1カ所)
に防犯カメラを設置します。

財政

「海の京都」、「地域活性化モデルケース事業」を積極的に推進

12月定例市議会での3つの一般会計補正予算が成立

11月27日から12月25日までの12月定例市議会での3つの一般会計補正予算
(第5号から第7号) 編成を行い、全て可決・成立。平成26年度の一般会
計予算総額は365億1098万円となりました。

11月29日



大宮町の地元区、各種団体
地域の皆さん約160人が参
加し、大宮ロードパークの法
面約400平方メートルに1500

株のシバザクラを植栽しまし
た。

平成28年度の山陰近畿自
動車道(仮) 大宮森本ICの開
通に伴い、観光などによる
来丹者数の増加が見込まれる

中、京丹後市の玄関口を花で
飾り出迎えようと、地域の皆
さんによる取り組みがスター
トしました。

企画政策課
69・0120



上/サクラの苗木の植樹を行った地元区長の皆さん
下/パンジーの植え方を教わる園児たち

11月21日
弥栄町を花の名所、癒しの
観光地として整備する、「お
もてなしの心による『花夷
道』づくり」がスタートし、
同町和田野の竹野川沿いにサ
クラの苗木などを植える植樹
式が行われました。

11月27日
昨年6月、市内の花づくり
グループの皆さんにより整備
した、市役所峰山庁舎前のモ
ニメント周辺の花壇におい
て、パンジーやハボタン、春
に咲くチューリップやスイセ
ンなどの球根類を、「ゆうか
り子ども園」の子どもたち60
人と一緒に植栽しました。

子どもたちは、花づくり
グループの皆さんに植え方を
教わり、「大きくなーれ」と
声を掛けながら植えていま
した。

春には、子どもたちが植え
たチューリップが花を咲かせ
ます。

11月21日

11月27日

まちづくり

憩いと安らぎ、美しいまちづくりへ

市内各地で花いっぱい運動広がる

本市では、市内が花で囲まれ、住む人、訪れる人に憩いと安らぎを与える心豊
かで美しいまちづくりを目指し、市民の皆さんとともに花いっぱい運動を推進し
ています。春の観光シーズンに向けた市内各地の取り組みを紹介します。

弥栄町
峰山町
大宮町

11月27日



雨天の中、約160人の参加者が1500株のシバザク
ラを植えた

目次
index

年頭あいさつ	P2
* 新春企画 つもの思い2015	P4
市政トピックス	P8
市内各地で花いっぱい運動広がる／12月定 例市議会での補正予算成立 ほか	
市政ガイド 「子ども・子育て支援新制度」がスタート・ (最終回)／環から通信(Vol.6) ほか	P12
まちのわだい 大宮南小児童が自作の地域PR CMを披 露／市民でつくる第九コンサート開催 ほか	P16
消防の広場	P18
住宅用火災警報器を設置しましょう!	
みんなの広場	P20
文化de丹後	P22
生命の絆	P23
情報ファイル 市の文化財／ジोटピックス／30歳の成人式 in 京丹後／図書館だより ほか	P24
京丹後人⑤7	P28

府民総体ゲートボール女子の部で優勝
中島睦子さん(76)、天田文子さん(76)、
小谷志津子さん(76)、松下春代さん(76)、
山本壽恵さん(67)

今月の「きょうたんごで“いいね”」

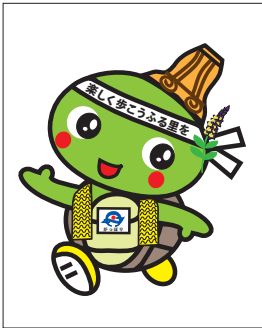


新年の抱負

～自作の門松とともに～

新しい年を迎えるに当たり、府立峰
山高校弥栄分校農園芸科2年生の皆
さんに、自作のジャンボ門松を背に來
年の抱負を伺いました。

写真の門松は、高さ約1.7mの竹3
本を中心に、マツやウメの枝、生徒た
ちが育てたハボタンなどで飾りつけら
れ、同校入り口の両サイドに設置され
ています。



イメージキャラクターに選ばれた「がっぱりちゃん」

ウォーキングによる健康づくりを進める「健康歩里ポイント事業」のPR役を務めるイメージキャラクターがこのほど決定しました。

健康 愛称は「がっぱりちゃん」 健康歩里ポイント事業 イメキャラ決定

愛称は「がっぱりちゃん」で全国から21点の応募があり、前岡弥生さん（茨城県常総市）のデザインを採用。健康長寿のシンボルである「カメ」をモチーフに、土器の帽子や市花のトウテイラン、丹後ちりめんのタオルなどが描かれています。

今後は、ウォーキングイベントなどの関連事業に活用していきます。

福祉 平和への誓い新たに 戦没者追悼式で3200有余人の冥福祈る

京都府丹後文化会館（峰山町）で11月19日、京丹後市戦没者追悼式が行われ、遺族や関係者ら約300人が、先の大戦で亡くなった市内戦没者3200有余人の冥福を祈るとともに、平和への誓いを新たにしました。

悲慘さと平和の尊さを次世代に語り継ぐとともに、御霊の尊い犠牲を深く胸に刻み、市民総幸福のまちづくりを進めたい」と式辞。また、遺族代表の垣中静雄さん（弥栄町黒部）が、戦争の悲慘さを綴った手記を読み上げ、当時を振り返るとともに、「華やかな町並み、豊かな食物、車社会など豊かな



戦没者の冥福を祈り、白菊を献花する遺族

市では、ごみの減量化・再資源化に向けた施策や目標値などを掲げる「第2次京丹後市一般廃棄物処理基本計画」の策定について、京丹後市廃棄物減量等推進審議会（浅田武夫会長）に諮問。同会での審議結果について11月10日、中山市長へ答申が行われました。

浅田会長は冒頭、「答申は」委員25人の総意。その重みをしっかりと受け止めていた

市民生活 実効性のある施策を協働で 市廃棄物減量等推進審議会が答申

きたい」と述べたうえで、「実効性のある施策を実施し、目標値の達成に努めること」市民、事業者、行政の協働とそれぞれの役割に応じて取り組むことが不可欠。市民の理解を得るためには、施策の成果や課題、進捗状況などの情報を提供すること／既存施策だけでなく、新たな廃棄物の発生抑制と再生利用率向上の研究を行うこと」と提言を行いました。

交通 住民参加で市民協働による除雪の充実を 小型除雪車3台を自治会に貸与



除雪車の操作方法を学ぶ地区役員ら（網野庁舎別館前駐車場で）

本市では、住民参加による除雪体制の充実を図るため、自治会へ除雪機械の貸与を行っています。

今年度は、3台の小型除雪車を新たに導入。除雪車の配置式を11月21日、網野庁舎（網野町網野）で実施しました。

式には、今年度新たに配置する3地区（網野町仲禅寺区、丹後町三宅区、弥栄町溝谷区）の役員らが出席。本市から除

雪車の鍵を受け取った後、納入業者から運転時の注意点や操作方法などを学びました。

坪倉仲禅寺区長は、「念願の配置により、これまで手作業で除雪をしていた高齢者の負担軽減につなげたい」と話していました。

貸与は、平成16年度から市民協働事業の一環として実施。主に区内の狭小な市道や歩道などの除雪を目的としています。



レーダー配備に伴い、現状や今後のスケジュールなどの情報交換が行われた第2回「安全・安心対策連絡会」

10月下旬に設置された発電機の稼働に伴う騒音については、暫定措置として騒音を防止するコンテナやパネルを設置、また今後、恒久的な措置として防音ハウスを建設する旨の報告がありました。

防衛省の説明に対し、地元の大下教夫袖志区長は、「軽減はされたものの、自然に慣れている地域なので、機械音を失くしてほしい」と引き続き万全の対応を求め、これに対し防衛省は万全の対応を確約しました。

安全・安心に関わる交通事故について、これまで5件の自損事故の報告があり、注意喚起と講習会の受講など事故防止策について説明がありました。

住居については、新たに賃貸住宅を建設する必要がある、未だ建設候補地が決まっていないことから、平成27



講演を行う富永局長

商工業 富永近畿財務局長が来丹、講演 「経済成長戦略新懇話会（第10弾）」を開催

京都北部・北近畿の経済活性化について有識者とともに考える「京丹後経済成長戦略新懇話会（第10弾）」が12月22日、セントラール・ホテル京丹後で開催されました。

この日「最近の近畿管内の経済情勢等について」と題し、富永哲夫財務省近畿財務局長が講演し、金融関係者ら約80人が業界の現状や動向、展望について傾聴しました。

富永局長は、消費増税を背

景に、個人消費や生産活動、設備投資などの動きを分析したうえで、「管内は引き続き持ち直しの基調は続く」と判断するものの、二極化が進み、負の側面への均霑が課題」と述べ、安倍政権が掲げる成長戦略の強化・加速、地方創生の取り組み、財政の健全化の必要性などを説明しました。

米軍経ヶ岬通信所（丹後町袖志）へのXバンド・レーダー配備に伴い、関係者間で情報共有する「安全・安心対策連絡会」が12月8日、京丹後市役所で開催されました。10月に続く2回目。

この日、地域住民の代表や防衛省、市などの関係者ら18人が出席。榊賀政浩近畿中部防衛局企画部長からレーダー運用開始までのスケジュール、環境調査結果、住民の安全・安心にかかる取り組み、地元雇用・交流事業の計画などについて説明、報告を受けました。

10月下旬に設置された発電機の稼働に伴う騒音については、暫定措置として騒音を防止するコンテナやパネルを設置、また今後、恒久的な措置として防音ハウスを建設する旨の報告がありました。

防衛省の説明に対し、地元の大下教夫袖志区長は、「軽減はされたものの、自然に慣れている地域なので、機械音を失くしてほしい」と引き続き万全の対応を求め、これに対し防衛省は万全の対応を確約しました。

安全・安心に関わる交通事故について、これまで5件の自損事故の報告があり、注意喚起と講習会の受講など事故防止策について説明がありました。

住居については、新たに賃貸住宅を建設する必要がある、未だ建設候補地が決まっていないことから、平成27

市民生活 新火葬場、本体工事完成 平成27年4月供用開始へ

新火葬場の整備事業は順調に進んでおり、昨年10月には建築主体工事・電気設備工事・機械設備工事が完了しました。現在、火葬炉設備工事と場内整備・植栽工事を行っており、

り、調度品の納入とあわせて3月には全ての工事を終了します。

平成27年4月1日から新火葬場で火葬業務を開始する予定です。



本体建築工事を終え、平成27年4月に供用開始予定の新火葬場

図総務課基地対策室
☎69・0012

の本格運用をはじめ、軍属等の事件事故などの情報を早期かつ積極的に公表、居住地選定に当たっては、地域に十分配慮するよう要請しました。

安全・安心 第2回「安全・安心対策連絡会」を開催 発電機の騒音対策等を重ねて要請、約束

会議に出席した地域住民の代表者らは「騒音防止」の交通安全事故防止について万全策を講じるよう口をそろえて要望。加えて、市および府からも住民の安全・安心にかかる対策、景観の保持、レーダー

下水道整備課
☎ 69・0550

市では、公共下水道区域並びに集落排水区域、市町村設置型浄化槽区域の水洗化促進を図るため、「下水道事業普及推進員（以下、「普及推進員」）2人を任命しています。

普及推進員は、下水道等の使用が可能となった各区域の中で、下水道をまだ利用されていないご家庭を訪問し、接続のお願いとアンケートを実施しています。

下水道は、各家庭から排出された生活雑排水や工場排水を集めてきれいにすることにより、生活環境を良くし、また、河川の水質を保全するという重要な役割を担っています。美しい自然環境を子供たちに残すためにも、下水道への接続をお願いします。



シリーズ

下水道のすごい力

Vol.5

～きれいな海や川を未来へ～

私たちの生活に必要な不可欠な「水」。このコーナーでは、公共用水域の水質保全と生活環境の向上のために整備する「下水道」をテーマとして、各種事業や支援制度などについて、さまざまな角度からシリーズで紹介しています。



下水道事業普及推進員
平田 貴治



下水道事業普及推進員
三浦 信悟

京丹後市には、全国でもトップクラスの水洗化支援制度があります。排水設備アドバイザー派遣事業や水洗化補助金等を積極的に利用し、下水道への接続をお願いします。

アドバイザー派遣や水洗化補助金を活用

下水道接続前は生活雑排水が田圃の用水路に流れ、溝掃除の際には気を使っていました。

そこで、アドバイザー派遣や補助金制度を利用して接続しました。接続後は水路もきれいになり、帰省した孫たちも水洗化したトイレをとて喜んでくれました。制度の活用で手間や負担が少なくなり、よかったです。



少しでも迷惑を
掛けないように



100歳を迎えましたが、これからも、少しでも人に迷惑を掛けないように生きて行こうと思い、下水道への接続をしました。おかげで、今は快適なトイレを利用しています。

ご存知ですか？下水道接続支援制度（その⑤）

最大で 20 万円の水洗化推進支援事業補助金があります

補助上限額 一般世帯 5万円
高齢者世帯 20万円（※世帯員全員が 65 歳以上の世帯）

<対象条件など>

- (1) 市内にある居住用の既存住宅の新規排水設備工事
- (2) 市内に本社・本店のある排水設備工事業者を利用した工事
※高齢者世帯に該当するには、次の条件も満たす必要があります。
・実際に居住している住宅の工事であること
・平成 25 年 4 月 1 日から 3 年以内の接続であること
(上記の日以降に供用開始した区域は、その日から 3 年以内の接続)

20万円の補助金には接続期限があるので、対象者の方は、この機会にぜひ下水道に接続を！



図 普及推進・料金課 ☎ 69 - 0540



「子ども・子育て支援新制度」がスタート 最終回

お子さんの教育と保育の充実や、地域の子ども・子育て支援を合わせて進めていくための新制度「子ども・子育て支援制度」の概要についてシリーズでご紹介してきました。最終回の今回は、「地域子ども・子育て支援事業」について紹介します。この事業は、子ども・子育て支援法に定められた以下の 13 事業のことです。きめ細かいメニューとなっており、妊娠期・乳幼児期・学童期にわたって、お子さんや家庭にあった事業が利用できます。



1. 延長保育事業

保育認定を受けた子どもについて、11 時間の開所時間を超えて保育を行う事業。



2. 放課後児童健全育成事業

保護者の就労等により、授業終了後等に家庭での見守りが受けられない小学校児童に対し、学校の余裕教室等を利用して適切な遊びや生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業。



3. 子育て短期支援事業

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等で必要な保護を行う事業。



4. 地域子育て支援拠点事業

公共施設や保育所等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流、育児相談、情報の提供等を行う事業。



5. 一時預かり事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、昼間に保育所等の場所で一時的に預かり、必要な保護を行う事業。



6. 病児・病後児保育事業（※）

地域の児童が病中または回復期に、病院・保育所等に付設された専用スペースにおいて、看護師等が一時的に保育等を実施する事業。



7. ファミリーサポートセンター事業

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。



8. 妊婦健診事業

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、健康状態の把握、保健指導等を実施するとともに、妊娠期間中に必要に応じた医学的検査を実施する事業。



9. 乳児家庭全戸訪問事業

生後 4 か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業。



10. 養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業。



11. 利用者支援事業（※）

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業。



12. 実費徴収にかかる補足給付を行う事業（※）

保育所等の利用時に日用品や行事参加費等の実費負担分について、市が定める基準に従い、保護者へ費用助成を行う事業。



13. 多様な主体が参画することを

促進するための事業（※）

制度の円滑な施行のために、多様な事業者の能力を活用しながら、保育所や小規模保育等の設置を促進していく事業。

※ 6・11・12・13 の事業は、現在実施していませんが、来年度以降の実施に向けて調整中です

ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください
子ども未来課 ☎ 69 - 0340



小中一貫教育が峰山中学校区・網野中学校区で本格的に始まりました

つながりの中に学びを育む ②

市教育委員会は、平成24年11月に策定した「京丹後市の学校教育改革構想 ～子どもたちの育ちと指導の一貫性をめざして」を基に、「小中一貫教育」を平成26年度から順次導入し、平成28年度には全ての小中学校において実施することとしています。「小中一貫教育」の内容や学校の取り組みについて、シリーズで紹介します。



▲小学生に伴走しながらアドバイスをおくる中学生（左側）

今回は、10月に網野北小学校で開催された市小学校駅伝大会に向けた駅伝練習の様子をお伝えします。この練習では、網野中学校駅伝部の生徒が網野北小、網野南小、島津小の児童に走り方や練習の仕方をお伝えしました。そこで、網野中駅伝部の8人（坪倉悠史君・2年・松本拓実君・同・西垣佑奈さん・同・吉岡美優さん・同・山崎柚奈さん・同・末次祐太君・11年・松田響君・同・前川紗矢華さん・同）に感想を聞きました。

Q 練習中、どんなことに気を付けましたか？

松田君「長距離の走り方や練習で大切なことを分かりやすく教えることで、少しでもタイムが上がるようにしたいと思いました」
末次君「あきらめずに走り切ってもらえるように『僕についてきたら何分何秒のタイムが出るよ』など気合の入るような声掛けを心掛けた」

Q 一緒に走ってみてどうでしたか？

前川さん「私たちのアドバイスをしつかり聞いてくれてうれしかったです。前の人との差が開いているときでも、ペースを落とさず走っていて凄いなと思いました」
坪倉君「小学生に声掛けしたり教えたりすることで、自分達自身もペースを作って楽しく走ることができました」

山崎さん「小学生にとってはきつい練習だったけど、最後まで全力で走れていました。小学生の姿を見て、自分も頑張ろうと思いました」
西垣さん「声掛けをしたらペースが上がってきて、小学生の気持ちの強さを感じました。私たちも、気持ちの強さが大切だと気付くことができましたし、小学生も中学生もお互いに得るものがあったよかったです」

Q 駅伝練習だけでなく、部活動体験や合唱祭の参加など、小学生と触れ合う機会が多くあることについてどう思いますか？

吉岡さん「小学生にとっては、入学したら先輩になる中学

生のことを知ることでできるし、部活動体験などで小学生に教えることは自分たちにとってもよい機会になっています」
松本君「中学校の生活に早く慣れるための活動なので、こうした機会があることは良いことだと思います。網野中学校のよいところをたくさん知ってもらいたいです」

網野北小6年生からも多くの感想を聞きました



▶中学生（手前）は、小学生を先導してグラウンドを走り、効果的な準備運動などについても指導を行った

●中学生はサポートするくらい余裕があつてすごかったです。やる気もあつて勇気をもらいました。いろいろな練習があることを知りました。ストレッチの仕方もうまかったです。

●一緒に走ってくれて「頑張れ」「もう少し」などの声掛けをしてくれました。応援してもらっているんだと感じました。

●「しっかりと準備しないとケガをするぞ」「自分のペースで走り切れ」「練習したらそれだけ強くなる」という言葉が心に残っています。

●きびしい練習でした。でも、その練習のおかげで、小学校駅伝大会で入賞できたと思います。

●来年は、僕たちも中学生になっているので、中学生と触れ合う機会があることで、たくさんのことを学べるチャンスだと思いました。

●かっこいい上級生をお手本として、私たちも成長していきたいです。

図学校教育課
☎69・0620



環ちから通信

Vol.6

現在、市が進める生ごみ資源化の取組推進に伴い、市域や分野を超えてさまざまな資源循環の環が広がってきました。今回は、その一部を紹介します。

新たな地域で生ごみ資源化に着手！

市では、平成30年に市内全域の家庭生ごみを資源化することとしており、平成26年度は従来のモデル地区と合わせて500世帯以上を目標に、生ごみ資源化対象地域の拡大を目指して各地域で説明会や勉強会を開催しています。

この度、久美浜町神崎地区（81世帯）が新たに生ごみ資源化の取り組みをスタート。同地区のほかにも市内各地で事業化に向けた検討が進んでおり、着実に取り組みが拡大しています。

アジア14カ国から視察団が来訪

11月19日に、アジア生産性



機構（APO）の主催で、日本の先進技術や先進都市の取組を学ぶ「APO未来都市視察団」の一環として、アジア各国の環境政策に携わる中央政府高官や地方自治体幹部等

25人が本市を訪れました。一行は、生ごみ資源化の現場である市エコエネルギーセンターを視察見学した後、中山市長から循環型のまちづくりについて説明を受け、熱心

- ①メタン発酵の仕組みについて説明を受ける視察団のメンバーたち（京丹後市エコエネルギーセンターで）
- ②視察団に対して、英語で歓迎のスピーチを述べ、本市が取り組む循環型のまちづくりについて説明する中山市長（京丹後市役所で）



11月9日に吉野小学校の4年生児童が、学習発表会で「ごみ処理と利用」と題して発表を行いました。10月に、峰山クリーンセンターとエコエネルギーセンターをそれぞれ視察していた児童は、施設職員や生ごみを分解するメタン菌などに模した衣装を着て寸劇を披露。本市のごみ処理や資源化の取り組みの現状について紹介した後、自分たちに出るものとして、3R（リデュース（減らす）、リユース（再利用する）、リサイクル（再資源化する））の実践を来場者に呼びかけていました。

小学校ではごみをテーマに学習発表

に質問するなど本市の取り組みに非常に高い関心を示していました。ある参加者からは「我々の国では環境に配慮したごみ処理が優先課題だが、日本ではごみを活用して、資源化するという次の段階に進んでいることに気づかされた」と話していました。



▶吉野小学校の学習発表会で「ごみ処理と利用」について研究発表を行った同小4年の児童たち

生ごみ分別・資源化実施地域募集中心!!

生ごみの分別・資源化に取り組んでいただける地域（地区）を募集しています。

地区やグループ単位等で申し込みいただければ、随時説明会を開催しますので、気軽にお問い合わせください。

図環境バイオマス推進課
☎69・0480



▲始動したリフトを見守る関係者

スイス村スキー場（弥栄町）で12月13日、スキー場開き式が行われ、関係者ら約20人が今シーズンの盛況と安全を祈願しました。

同場は、太鼓山（標高683_{メートル}）の山頂付近にあり、ゲレンデの全長は1,300_{メートル}。3基のリフトを備え、初心者用から上級者用まで、7コースが設定されています。

安全祈願の神事に続く式典では、同場を運営する株式会社スイス村管理組合代表取締役の大江俊太郎さんがあいさつ。「昨季は7,600人が来場し、年々少しずつ増えている。さらなる誘客に全力で取り組んでいく」と決意を述べました。その後、出席者が見守る中、第1リフトが始動し、シーズンの始まりを告げました。※営業状況などはスイス村スキー場総合案内所（☎66-0036）へお問い合わせください。

新鮮な海の幸求め長蛇の列

久美浜カキ・魚まつりに3千人



▲長蛇の列ができた焼きガキコーナー

「第29回久美浜カキ・さかなまつり」（同実行委員会主催）が12月7日、久美浜町湊宮マリンプラザ前で開かれ、市内外から訪れた約3,000人が地元でとれた新鮮な海の幸を堪能しました。

焼きガキの振る舞いコーナーでは、最盛期を迎えている久美浜湾の養殖ガキ約3千個が提供されたほか、旬のズワイガニや魚が入った大漁鍋も販売され、香ばしい香りに来場者が長蛇の列を作りました。

また、カニ雑炊の早食い大会やハマチすくい体験、ビンゴゲーム、餅まきなども行われました。

▶吹雪の中、放牧場から数百_{メートル}離れた牛舎まで走り駆ける和牛



モ～お家に帰ろう

碓高原で和牛の収牧作業

12月2日

丹後町

初雪を観測した碓高原牧場で12月2日、収牧作業が行われました。この作業は、冬に備えて牛たちを順次放牧場から牛舎に帰すもので、この日は最後のグループ8頭を収容しました。

牧場では、黒毛和種繁殖雌牛約120頭を飼育しており、受胎が確認されると、豊富な牧草にあふれた32_{ヘクタール}の放牧場で出産前まで過ごします。最後まで、放牧されていた妊娠牛8頭は、今年1月から3月にかけて出産予定です。

牛たちは、積雪と吹雪の中「寒いよー」とばかりに小走りで牛舎まで駆け、舎内でほっとした様子を見せていました。

地域による子育て意識の高揚と青少年の健やかな成長を見守る方策を考える「子育て講演会」（京丹後市PTA協議会網野ブロックなど主催）が12月11日、アミティ丹後で開催され、網野町内の小中学校に通う児童・生徒の保護者ら約100人が参加し、子育てのヒントを学びました。

この日「あーよかったな あなたがいて」をテーマに教育サポーターの仲島正教さんが、21年間の教師経験を基に、身振り手振りを加えて講演。仲島さんは、「（子育ては）足で稼ぐこと」と述べ、相手に歩みよる姿勢の大切さ、『優』の文字を“人を憂う『優しさ』”や“百の愛”と例え、相手を思う気持ちの大切さを説明しました。

そのほか、自分で自分の好きなところを考えさせて自尊心を高める方法や、人を幸せにすることば『あーよかったな あなたがいて。あーよかったな あなたという』を紹介するなど、心豊かな子どもを育てるための、たくさんのコツを伝授しました。



▲「優」の文字について説明する講師の仲島さん

「あーよかったな」は幸せのカギ

12月11日

網野町



▲ベートーベンの「交響曲第9番ニ短調」を披露する市民ら

「市民でつくる第九コンサート」（京丹後文化のまちづくり実行委員会主催）が11月30日、京都府丹後文化会館で開かれ、来場者710人が混声合唱に聞き入りました。同コンサートは、世代を超えた文化交流などを目的に行われたもので、今回が3回目。応募により集まった中学生以上の市民約140人が、8カ月に渡って練習を重ねてきました。

この日は、丹後出身のソリスト4人と「MAF管弦楽団」と共に、ベートーベン作曲の交響曲第9番ニ短調（喜びの歌）を披露。ホールに力強く響き渡る美声に、会場から大きな拍手が沸き起こりました。

峰山中学校で吹奏楽部に所属している森田すみれさん（14）は「迫力ある合唱に感動しました。私もあの舞台に立ってみたいです」と話していました。

ホールに、喜びの、美声響く

11月30日

峰山町

まちのわだい

★town topics★



大宮南小制作の京丹後市PRCM

スマートフォンなどの端末を使って右のコードを読み取ると、動画が再生されます。※機種等により再生されない場合があります。



大宮南小学校の「大宮いいとこ広め隊」（同小6年）が制作した京丹後市をPRするCM（※）が11月8日、同校の学習発表会で披露されました。

この日、児童の保護者やCMづくりに協力した地域住民ら約200人が学校を訪問。伝統の丹後ちりめんや名勝「琴引浜」「立岩」をはじめ、地域に伝わる物語「羽衣天女」「浦島太郎」、郷土料理の「ばら寿司」などを京丹後の魅力と捉え、それぞれの特徴をまとめた映像に見入りました。

子どもたちの力作を視聴した藤岡裕子さんは、「自分たちの住むまちの良さを知ってほしいと願う気持ちがよく伝わり、感動しました」と感想を述べていました。

CMは、昨年度、コメをテーマに調査研究を行った児童が、特Aランクのコシヒカリの認知度が低いことに奮起して制作を発案。映像制作を専門とする羽衣国際大学の協力により実現したものです。

また、これらの内容をまとめたパンフレット『京丹後のがりゃあええところ』も制作し、本市をPRしています。 ※市公式動画サイトで配信中！！



▲学習発表会でCMを披露する「大宮いいとこ広め隊」の児童たち

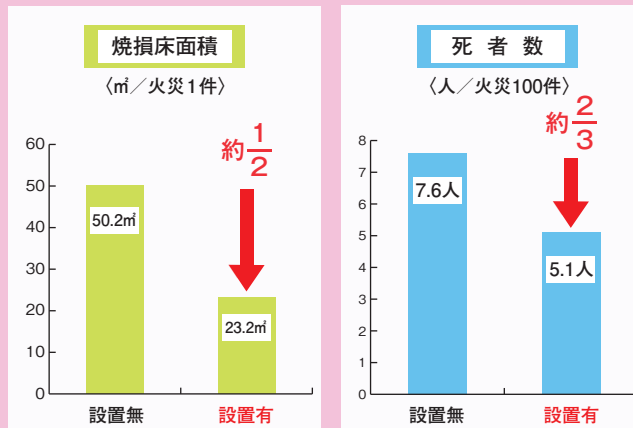
京丹後に、がりゃあええところがあるよ

大宮南小児童が自作の地域PRCMを披露

11月8日

大宮町

**火災警報器、被害軽減に一役
焼損床面積も死者数も減少!!**



住宅火災1件当たりの焼損床面積

住宅火災100件当たりの死者数

消防庁の調査によると、平成 20 年から平成 22 年までの3年間に発生した住宅火災をもとに火災警報器の効果を分析したところ、火災警報器が設置されている場合は設置されていない場合に比べて、焼損床面積は約 2 分の 1 に、死者数は約 3 分の 2 に減少しており、火災警報器の効果が証明されています。

◆住宅火災による死者

就寝時間帯に集中

なぜ寝室や階段上端（※右ページ設置例参照）にも火災警報器が必要なのでしょうか。

住宅火災による死者の発生状況を見ると、**逃げ遅れ**が最も多く、全体の約6割を占めています。その最大の原因は、**発見の遅れ**によるもので、火災の発生に気付きにくい就寝時間帯に集中しています。また、煙の流れは火よりも速く、階段や吹き抜けなど縦方向の区画から上階へ広がり、建物全体に充満していきます。

そのため、就寝中でも火災の発生を

大きな警報音で知らせるように、感知の早い煙式の火災警報器を寝室や階段上端にも設置するように規定されています。

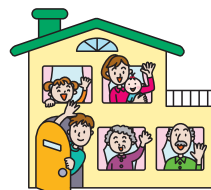
◆高齢者世帯への
設置促進が大きな課題

住宅火災による死者を年齢別にみると、**65歳以上の高齢者**が約7割を占めており、近年の高齢化の進展とともに増加傾向にあります。

しかし、アンケートでは、高齢者世帯における火災警報器の未設置が多くみられました。その要因として、身体的に高所への取り付けが困難である

◆安心・安全の

街づくりに向けて



ことや、防火・防災に対する関心が薄いことなどが挙げられました。本市でも、高齢者世帯への火災警報器の設置促進が大きな課題であるといえます。

市消防本部では、火災警報器の設置率100%をめざし、街頭での呼び掛けやチラシ配布など、さまざまな活動を行っていますが、まだまだ多くの課題が残されています。

火災警報器を設置されていない世帯は、今すぐ設置してください。また、すでに設置済みの世帯についても、**定められた全ての箇所**に正しく設置できているか、もう一度確認してください。まわりの高齢者世帯にも気を配っていただき、積極的な声掛けや取り付けサポートなど、できる範囲での手助けをお願いします。

火災警報器の設置率を向上させるためには、市民の皆さんの協力なくして実現することはできません。安心・安全の街づくりに向けて、火災警報器の設置促進にご理解をよろしく願います。



署員とともに火災警報器の設置促進を呼び掛けるブレンダ・ホープリーさん

昨年11月11日、秋季火災予防運動（11月9日～15日）の実施にあわせて、南アフリカ出身で市内在住のブレンダ・ホープリーさん（市国際交流協会員）を1日女性消防官として委嘱し、市内保育所での防火教室、シヨツピングセンターの防火査察や街頭広報など、さまざまな活動を行いました。

街頭では、署員とともに、笑顔で火災警報器の設置を呼び掛けました。買い物客が、ブレンダさんの呼び掛けに熱心に聞き入る場面もみられ、火災警報器の設置促進に一役買っていたきました。

秋季火災予防運動
1日女性消防官を委嘱

お問い合わせ先 市消防本部 (☎62-0119) ホームページもご覧ください。
<http://www.city.kyotango.lg.jp/kcfd/>

消防の広場

119

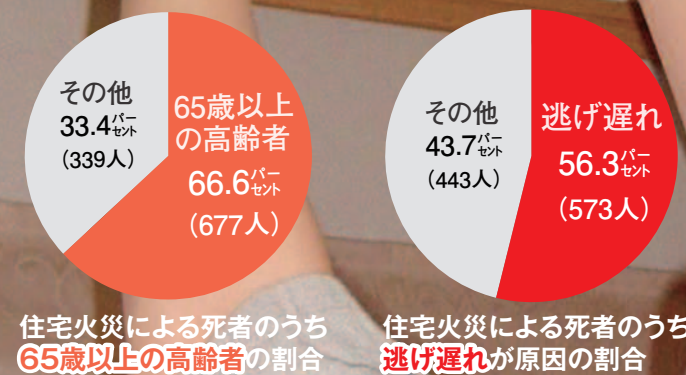
火事・救急・救助

ついでますか
住宅用火災警報器
月に一度は作動点検

寝室・階段上端にも

住宅用火災警報器

を設置しましょう!



※総務省「平成25年版消防白書」より

◆定められた全ての箇所に
設置していますか？

設置していますか？

市火災予防条例では、火災警報器の設置場所について、**寝室・階段上端（寝室が2階以上にある場合）・台所に煙式の感知器を設置しなければなりません。**

しかし、アンケートでは、「台所だけで、寝室などには設置していない。」という世帯も少なからず見受けられました。

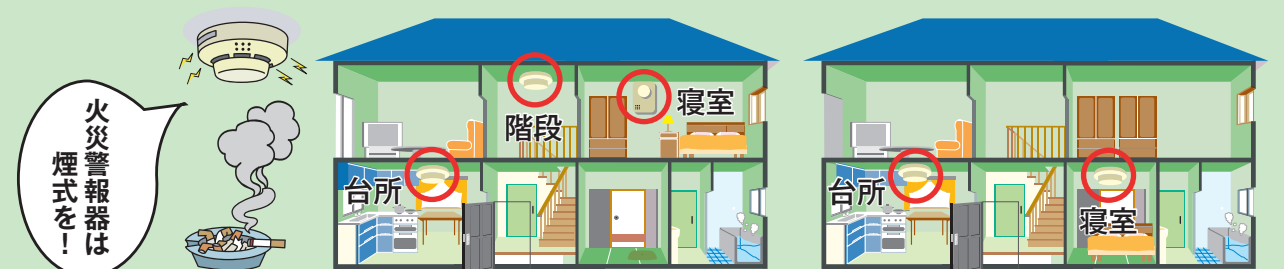
このことから、火災警報器は設置しているが、定められた全ての箇所に正しく設置できていない世帯があるという現状が明らかになりました。

市消防本部では、住宅用火災警報器（以下「火災警報器」という。）の普及啓発および設置促進に役立てるために、定期的にアンケートを行い、市内の住宅における火災警報器の設置状況を把握・分析しています。

消防庁がまとめた調査結果によると、平成26年6月1日時点での設置率は、全国平均79・6パーセント、京都府83・9パーセント、**京丹後市79・0パーセント**でした。（消防庁が示した全国統一の新調査方法による。従前の調査方法（街頭アンケート）では、

86・1パーセント）

～市火災予防条例で規定する火災警報器の設置例～



【寝室が2階にある場合】

【寝室が1階にある場合】

※子ども部屋なども、就寝に使用する場合は火災警報器が必要です!

問消防本部予防課
☎(0772)62-5119

いのち ぎずな 生命の絆

A bond of life

生まれてきてくれてありがとう

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃん誕生の瞬間を喜びご家族の姿を紹介します。



さどかえい

無事生まれてきてくれてありがとう。



吉田 愛翔ちゃん(男の子)
11月生まれ・2,864g
母：莉沙さん 父：博喜さん
(与謝野町／実家：大宮町上常吉)



さどかえい

生まれてきてくれてありがとう
これからいっぱい思い出作ろうね



久保 美織ちゃん(女の子)
11月生まれ・3,195g
母：美里さん 父：光さん
(与謝野町／実家：峰山町杉谷)



さどかえい

元気に生まれてきてくれてありがとう。
いろんな人との出会いを大切に
幸せな人生を歩んでください。



光岡 和奏ちゃん(女の子)
11月生まれ・3,002g
母：詩織さん 父：一樹さん
(岡山县倉敷市／実家：丹後町此代)

京丹後の食材で簡単レシピ 旬★感 たんごはん Vol.14



“とろ～り” 黒豆ラザニア風

材料（2人前）

・黒豆煮	…適量	・お酒	…大さじ1
・お餅	…適量	・濃口しょうゆ	…大さじ1
・ひき肉	…100g	・トマトケチャップ	…大さじ1
・玉ねぎ	…100g	・塩	…適量
・チーズ（ピザ用）	…70g	・こしょう	…適量

作り方

1. 玉ねぎはみじん切りにし、お餅は薄くスライスしておく。
2. 熱したフライパンにサラダ油をひき、ひき肉、玉ねぎを入れ、塩こしょうをふり、炒める。
3. 軽く炒めたら、お酒、濃口しょうゆ、ケチャップを入れ水気がなくなるまで炒める。
4. 3が炒め終わったら、グラタン皿（耐熱皿）に移し、その上に黒豆煮を敷き詰め、さらに、お餅、チーズをのせる。
5. 電子レンジ（600W）で8分程度温める。
6. チーズとお餅がとろ～りとしたら完成！



教えてくれたひと

佐藤 雅史さん（峰山町）

お正月に欠かせない食材と言えば、「黒豆」と「お餅」。そのまま食べても、もちろん美味しいですが、何日も続く飽きてしまいますよね。そこで、この2つの食材を使った簡単な料理が出来ないかと思い、考えついたのがこの料理です。料理のポイントは、せつかく炊いた黒豆をつぶさず、形を残した状態で作ることです。簡単に出来ますのでお試しください。



体験レポート

今回は、お正月に余りがち(?)な食材を使ったアレンジ料理を教えてくださいました。作り方はとても簡単。おかずとして食べてもよし、ちょっとしたおやつに食べても良しの一品です。

レンジで温めることで黒豆がさらに柔らかくなり、トッピングしたお餅とチーズと合わせて食べると“ふわとろ”な食感が楽しめ、また、ケチャップの酸味とチーズの塩味に続き、黒豆の甘味が程よく広がり、まろやかな味わいに!!身体も心も温めてくれるとろ～りあったか料理で冬の寒さを吹っ飛ばしましょう!



▲試合形式で百人一首を使ったかるた取りを練習する「網野かるた友の会」のメンバー（いっぶく亭で）

ぶんかでたんご

文化 de 丹後

ぶんか手帳 #14

このコーナーでは、文化活動で人生を楽しむ皆さんにその魅力を紹介していただきます。

百人一首・競るた技

いくつになっても熱く
真剣勝負で

かるた取りでお馴染みの百人一首。全て暗記しているという方もいるのではないのでしょうか。皆さんに広く親しまれている「小倉百人一首」は、鎌倉時代初期の歌人藤原定家が

が京都の小倉山で、100人の歌人の和歌を、一人一首ずつ選んでつくった秀歌撰です。

私も小学生の頃は、全て暗記し、地域のかかるた取り大会にたびたび出場していました。また、20代の頃にも仲間内で流行り、よく集まってかるた取りをしていました。平成21年5月には、「もう一度、百人一首を使つたかるた取りを楽しみたい」「良い頭の運動になるのではないか」と網野町の有志4人と共に、「網野かるた友の会」を結成。現在は、60、80代の15人のメンバーが集まり、月に2回練習しています。

百人一首で行うかるた取りの楽しみは、なんととっても試合で狙いの一枚が取れたときの爽快感。読み手の言葉に集中し、最初の上の句一文字が発せられた瞬間に手が伸びて取れたときはとてもうれし

いす。年齢差があっても真剣勝負できるのも魅力のひとつですね。子どもの頃に比べると反射神経が鈍り、取るスピードも遅くなりましたが、技と駆け引き次第で若い人も対等に試合することが出来ます。

また百人一首は、特定の場所や時代背景が詠まれています。そうした歌に共感し、自分のお気に入り、得意とする一首を見つけるのも楽しみのひとつです。

平成23年からは、百人一首の楽しさを伝え、伝統文化に関心を持ってもらおうと、一般の方や子どもたちを対象にした「かるた大会」を開催しています。来月にも開催を予定していますので、出場を希望する方は、事務局・梅田豊則さん（☎7210725）へお申し込みください。

吉岡 完さん (77)



網野町網野在住。中学校の体育教諭時代には、バスケットボールやサッカー部などの顧問を務め、常に勝ちにこだわっていたという吉岡さん。「かるた取りでも同じです」と笑顔で話していました。

ぶんか TOPICS

第26回ジュニア文化祭開催

13団体が練習の成果を披露

平成26年度丹後文化芸術祭「第26回ジュニア文化祭」(丹後文化芸術祭実行委員会など主催)が12月7日、京都府丹後文化会館（峰山町）で行われ、丹後地域の幼稚園児から高校生までの13団体が日頃の練習の成果を披露しました。

府立網野高等学校の体操部による演技を皮切りに、3B体操や琴、ストリートダンス、モダンバレエ、軽音楽、和太鼓、チアダンスなど多彩な発表が続き、フィナーレでは、市立峰山中学校吹奏楽部が「Let's Swing」を演奏。訪れた保護者など約700人の観客から盛大な拍手が送られました。

同文化祭は、学校の枠を超えた子どもたちの文化的交流を図ることなどを目的に、毎年開催しているものです。

写真（出演団体名）：01 市立峰山中学校吹奏楽部 02 プティエトワール 03 久美浜子供太鼓 あまべっこ 04 ood geek 05 ブルーエンジェルス





山陰海岸ジオパーク児童・生徒研究作品コンテスト 入賞作品展開催

島津小の小山京太郎君が努力賞

フォトピックス

山陰海岸ジオパーク推進協議会は、今夏、本市から鳥取市までのエリア内に在籍・在住する児童生徒を対象に、山陰海岸ジオパーク児童・生徒研究作品コンテストを実施しました。73点の応募作品のうち、23点が入賞。本市からは、11点の応募があり、島津小学校3年の小山京太郎君の研究作品が見事努力賞に選ばれました。

市では、入賞作品と本市からの応募作品計33点を昨年11月26日から12月3日までの間、ショッピングセンターマインで展示。来場者はじっくりと作品に見入っていました。

山陰海岸ジオパークは、子どもたちの調査研究の対象として適したテーマ、フィールドであり、今後も市が実施する小学6年を対象とした「大地の学習」と連動して、子どもたちの主体的な調査研究につなげていきます。

写真：上左／展示会場で研究作品に見入る来場者たち 上右・下／努力賞に輝いた小山京太郎君の作品。琴引浜に生ずる植物や海を渡り毎年飛来する蝶「アサギマダラ」などを調査した



▲迎接寺跡のシイ（ツブラジイ）

京丹後市の文化財 105

迎接寺跡のシイ（ツブラジイ）

迎接寺は、久美浜町湊宮の山内地区にあった山林寺院です。戦国時代に久美浜町大向へ移転し、現在は遍照寺となっています。元の迎接寺のあった場所を訪れると、かつての壮大な姿が目に見えます。

迎接寺跡のシイ（ツブラジイ）は、昭和44年に廃村となった山内集落から、迎接寺跡への上がり口付近にあります。胸高幹周8・03m、樹高14mある市内最大

市内最大のシイ（ツブラジイ）

のツブラジイです。樹齢はおよそ300年と推定されています。

一般的にツブラジイは、木材腐朽菌におかされ、中心部に腐れが生じやすいですが、根元から萌芽再生する能力が高く株立ちとなっています。多くの言い伝えがあります。

迎接寺跡のシイ（ツブラジイ）は、株立ちが多く、根元に次世代の幹が見られ、ツブラジイの特徴を良く示しています。また樹勢も盛んです。

以上のように市内最大で樹勢が盛んである点が評価され、平成20年7月8日付けで京丹後市指定文化財（天然記念物）に指定されています。

（文化財保護課）



Pick-up

Pick-up



01. 02. 手話を交えて人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」を合唱する市少年少女合唱協議会、同作詞者の鮎川めぐみさん（前列左） 03. 人権作文を発表する平井陽奈子さん（大宮中2年） 04. 「生命のメッセージ展」に展示されたパネルなど 05. 夫婦漫才で会場を沸かせた辻イト子さん・マガルさん

このほか、犯罪被害者遺族の会による「生命のメッセージ展」や人権擁護委員会による人権相談も行われました。

内閣府男女共同参画局武川局長が講演
「すべての女性が輝く社会目指して」
—市制10周年記念事業「みんなのつどい」開催—
アグリセンター大宮（大宮町）で11月29日、京丹後市制10周年記念事業「みんなのつどい」（市、市女性連絡協議会など主催）を開催しました。参加した市民ら約280人が講演会や中学生の作文発表などを通して、男女共同参画の推進や人権の尊重の大切さについて学びました。

中学生による人権作文の朗読では、平成25年度全国中学

生人権作文コンテスト京都大会で佳作に選ばれた平井陽奈子さん（大宮中2年）ら3人が発表。平井さんは、「障害者の問題」と題し、「障害があるのは特別ではない。私たちが生活しやすい環境をつくること」と主張しました。

続いて、内閣府男女共同参画局の武川恵子局長が「すべての女性が輝く社会づくりを



内閣府男女共同参画局の武川恵子局長の講演

京丹後市出身 大江真弘 気仙沼市副市長来丹
震災から3年半、復興の現状を語る

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において甚大な被害を受けた宮城県気仙沼市。震災後3年半が経過する中、同市の復興に向けた取り組みを牽引する大江真弘気仙沼市副市長が現状を語りました。



講演した大江真弘気仙沼市副市長

11月21日、東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市から、大江真弘副市長（京丹後市峰山町出身）が来丹し、同市の震災復興の取り組みについて、峰山総合福祉センターで講演。市職員ら150人が被災地の現状を学びました。

講演で大江さんは、思い出したくないと述べた上で、被災当時の映像を見ながら、押し寄せる津波や黒煙が舞い上がる火災の様子、40隻以上の大型船および約3,000隻の漁船が流出・損壊した状況などを説明し、市全域がおよそ70cmの地盤沈下したことが特徴と語りました。

現在、防潮堤や安全な高さまで盛り土を施すなどを行っているが、民地のかさ上げは「個人資産の形成」であることから、公費投入が困難で対策に苦慮している。さらに被災場所から別の場所への「移転再建」を基本とするため、用地造成や土地の問題もあり、9,300人以上が一時的な住居で生活していると述べ、「まだ“復興半ば”」

と強調。その中で、震災があったからこそ、市民が知恵を出し合い、総意工夫を重ね一体となり、意欲的な動きが出てきたと話し、まだまだ時間はかかるが、復興に向け全力を尽くしたいと締めくくりました。

大江副市長は講演のほか、震災後の新たなまちづくりに生かすため、本市が取り組む上限200円バスや200円レールを特徴とする公共交通、丹後大震災からの復興に向けた取り組み等について視察を行いました。

同講演は、市役所職員の視野の拡大、知識と行動力を養成するとともに、市民の皆さんにも参加いただき、市民協働のまちづくりを進めようと開催したものです。



気仙沼市の概要

宮城県の北東端に位置し、世界三大漁場「三陸沖」での沖合・近海漁業や、世界の海を対象にした遠洋漁業の基地として繁栄。造船から水産加工までの幅広い水産業が立地している。生鮮カツオ水揚げは、18年連続日本一（見込み）を記録。人口約7万人（震災前）で、天然記念物の鳴き砂「十八鳴浜」「九九鳴き浜」が有名。

図書館だより



今月のおすすめ

■しめかざり



子ども向け

お正月に神様を迎えるために玄関にかざる「しめかざり」。地方によって形や込められている意味が違ってきます。日本の伝統と文化を伝える一冊です。

森 須磨子／文・絵
福音館

■「君の椅子」ものがたり

北海道の小さな町から生まれた
いのちのプロジェクト

大人向け

「君の居場所はここにあるからね」の思いを込めて、北海道の小さな町から始まったプロジェクト。名前と生年月日が刻まれた木の椅子、「君の椅子」を贈る取り組みです。椅子は、2011年3月11日、震災の日に生まれた東北3県の子どもたちにも贈られました。

文化出版局／編
「君の椅子」プロジェクト／監修
河出書房新社

1月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
2/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14

◆開館時間／10時～18時（峰山・あみののみ水曜は19時まで）
毎週月曜・毎月1日は休館日（土日祝日と重なる場合は翌日）

◆貸出／1人20点まで・2週間

◆図／峰山図書館（☎62-5101）大宮図書室（☎69-0672）
あみの図書館（☎72-4946）弥栄図書室（☎65-2101）
久美浜図書室（☎82-1771）丹後図書室（☎69-0664）

「冬のおたのしみ会」「冬のおはなし会」を開催

多彩な催しに笑顔溢れる

市立図書館（室）は昨年12月、`おはなし`の楽しさを伝える「冬のおたのしみ会」や「冬のおはなし会」を開催しました。読み聞かせボランティアの皆さんと職員による手作りの催しで冬の恒例行事となっています。

当日は、大型絵本や人形劇、ペープサート、パネルシアターの上演などがあり、親子連れなど大勢の参加者たちはじつくりと聞き入っていました。このほか、クリスマスにちなんだ工作に挑戦したり、プレゼントを受け取ったりと、会場は子どもたちの笑顔に包まれていました。



左上／パネルシアターの上演（丹後図書室）



右上／紙芝居の上演（久美浜図書室）



左下／ペープサートの上演（あみの図書館）



右下／人形劇の上演（峰山図書室）

読み聞かせボランティア「わ」
「社会福祉事業特別功労者表彰」を受賞

峰山図書館所属の読み聞かせボランティア「わ」が、京丹後市社会福祉大会で、「社会福祉事業特別功労者表彰」を受賞されました。

ボランティアとして子どもたちの読書を推進するため、読み聞かせを中心とした活動を展開。人形劇やペープサートなどの公演でおはなしの面白さを伝えるため、活躍されています。

◎図書館からのお願い

◆図書館の本は市民の皆さんの財産です。大切に扱ってください。

◆図書館の資料を汚したり、破損したりした場合は、無理に消しゴムで消したり、セロテープを貼るなど個人で修理せずに、図書館にご相談ください。



▲参加者全員で記念撮影



▲活発な意見交換が行われたパネルディスカッションの様子。左から山添藤真与謝野町長、宮津市議の中島大文さん、伊根町の自営業三野いずみさん、与謝野町出身で東京丹後人若手会を結成した土井継人さん、竹野神社の神職櫻井祐策さん

「第3回30歳の成人式in京丹後」が11月22日、峰山町のプラザホテル吉翠苑で開かれ、今年度130歳を迎える本市出身者、在住者など約160人が参加しました。

同世代の絆を深め地域活性化につなげようと、有志でつくる実行委員会が企画したもので、テーマは「集う・つながる・動き出す」。パネルディスカッションや懇親会を通じて、古里への思いを新たにしました。

パネルディスカッションでは、全国に先駆けて30歳の成人式を開催した山添藤真与謝野町長をはじめ、丹後町の竹野神社神職、櫻井祐策さんら2市2町の同世代5人がそれぞれの経験をもとに意見交換。「丹後の良さをどんどん発信しよう」「祭りを通じていろんな世代と関わることで、地域の課題や魅力と向き合える」などと語りました。

広報クイズ



今月号の記事の中からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人に図書カード500円分をプレゼント！

問1 市内各地で〇いっぱい運動広がる

問2 市民でつくる第〇コンサート開催

問3 府民総体〇〇〇〇〇〇女子の部で優勝

◆応募方法

はがきに ①クイズの答え（〇の中に入る数字や文字） ②住所 ③氏名〈ふりがな〉 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙の感想やイラスト、取り上げてほしいテーマなどをご記入の上、秘書広報広聴課まで（宛先は裏表紙を参照）。なお、お寄せいただいた感想やイラストは広報紙に掲載することがあります。※⑥の項目も忘れずにご記入ください。

◆応募締切

1月30日（金）当日消印有効。当選者の発表は3月号のこのコーナーで。

◆12月号の答え

問1…シルク 問2…花月 問3…久美浜

◆12月号当選者

岡本由貴子さん（網野町）、司馬直美さん（峰山町）、高野幸宏さん（網野町）、小牧知子さん（峰山町）、早田八重子さん（久美浜町）
応募総数26人、全員正解でした。ご応募ありがとうございました。

Kia 京丹後市国際交流協会

昼食に丹後ばら寿司を食べながら
歓談する参加者たち



交流会で京丹後の魅力を体感

市国際交流協会では、市内在住外国人と市民との交流会「Lunch & Tea Party」を昨年12月21日、豪商稲葉本家（久美浜町）で開催しました。

この日は、当会会員の中国、韓国、フィリピン出身者や、米軍経ヶ岬通信所の軍人ら約30人が参加。国登録有形文化財の同本家を見学した後、地元的女性グループによる大正琴の演奏を楽しみました。

昼食には、「丹後ばら寿司」を食べながら歓談。また、京丹後産の茶葉を使った煎茶の入れ方を教わるなど、京丹後の魅力を体感しながら、交流を深めました。

navi navi navi navi navi navi navi



若者・若者・若者がまちをかえる



若さあふれるひと・地域のおさを発見してくれる人・ひとつのことに夢中になれるひと

優勝し、記念撮影するメンバーの皆さん(左から中島さん、天田さん、小谷さん、山本さん、松下さん) 丹波自然運動公園で11月23日



kyotangojin

府民総体ゲートボール女子の部で優勝

中島睦子さん(76) 五箇
天田文子さん(76) 荒山
小谷志津子さん(76) 鱒留
松下春代さん(76) 五箇
山本壽恵さん(67) 千歳



日々絆を深め 友人から戦友に

誰もが知っている団体スポーツ「ゲートボール」。府内には、約3000人の競技者があり、各地で白熱した戦いが繰り広げられている。そんな中、第37回京都府民総合体育大会ゲートボール女子の部で優勝を飾ったのは、京丹後市女子チームだった。京丹後市初の栄冠を勝ち取った中島キャプテンらメンバー5人に、勝因を聞いた。

開口一番「運がよかったです」と笑う中島さん。聞くと、試合前は「優勝なんてとんでもない。1勝できたらいいねとみんなで話していた」という。しかし、結果はトントン拍子に勝ち進み、4戦全勝。特に、4戦目は昨年の優勝チーム(南山城村)だったが、ものおじせず力を出し切り、接戦をものにしました。

まさか、の優勝を飾り、京都府の頂点に立ったメンバーが口をそろえて言うのは「無欲と団結力」。チームのメンバーは同い年が多く、一番若い山本さんも含めてみんな気の置けない仲間。ゲートボールを離れても、プライベートな話を一から十まで話せる間柄だという。練習時も、手作りケーキや旬の果物などを持ち寄っては、休憩時に談笑し、話を花を咲かせている。

こうして日々深めた絆が、単なる友達を越えて栄光を分かち戦友となった。

というのも、ゲートボールは1球のミスで試合の流れや結果がコロッと変わる競技。ここ一番のチャンスを逃すと、味方にさえ

厳しい言葉やヤジが飛ぶことも珍しくないという。「失敗できない局面で、チーム内外からプレッシャーを受けながら力を出すのは厳しい。終始楽しく、和やかな環境を作ることが大切で、のびのびとしたプレーが結果をもたらした」と松下さん。天田さんも「試合でも練習でも、褒め合っていていいところを伸ばし合っていて、心も体もプラスに持っていけるような声掛けを大切にしている」と話す。

さらに、家族の理解が大きいのも事実。練習、試合あわせて週5日スティックを握るため、熱心にゲートボールができるのは、家族の支えがあつてこそだという。小谷さんは「病氣したこともあつたが、『暗い顔で家にいるより、外で元気に活動している方がいい』と、快く送り出してもらっている」と感謝を口にする。

ゲートボールの技術は、市内も府内も「ドングリ状態」というが、少しでも技術を高めようと努力は怠らない。毎日のようにゲートボール場に通っては汗を流し、大会前には、昨年の府民総体で優勝した男性チームのメンバーから熱心な指導を受けた。今までは試合形式の練習ばかりだったが、部分練習を取り入れ、ショットの精度を高めたことも、1試合平均18点という高得点に結びついた。

もともと、高い目標を掲げているわけではないメンバーたち。今後の展望は、競技人口の増加だという。「ゲートボールを始めると、そこに仲間や友達ができ、絆が生まれ、心身ともに充実できる。場が生まれる」と山本さん。メンバーたちは「年をとっても楽しみがあるのは素晴らしいこと。ゲートボールをきつかけに、毎日を楽しみたい」と口をそろえる。

つぶやき

明けましておめでとうございいます。新たな年がスタートし、それぞれ新鮮な気持ちでお過ごしのことと思います。▼今月は新年号ということので、「つるの思ひ2015」と題し、市民の皆さんから今年の「目標」や「抱負」を伺いました。素敵な笑顔とともにお届けします▼私たち広報マンも、視野が広く、嗅覚も優れている「羊」のように、いろんな情報を嗅ぎ付け、新たな取り組みや一風変わったイベントに至るまで幅広く発信できるように頑張ります。もし、皆さんの周りで面白ネタや地域イベントなどの情報がありましたら、当課までドシドシお寄せください!▼どうか市民の皆さんにとって、良き一年となりますように/秘書広報広聴課 一同

人口・世帯数

男	28,183 人 (-2)
女	30,380 人 (-35)
計	58,563 人 (-37)
世帯数	22,682 世帯(+3)
12月1日現在、カッコ内は前月比。	
住民基本台帳(外国人含む)による。	



あけましておめでとうございます。

皆さんにとって
素敵な1年となりますように

